

# 給食だより

1月号  
毎月19日は  
食育の日

令和7年1月21日  
新座市立新座小学校  
栄養教諭 鈴木純子

20日は「大寒」ですが、これから特に厳しい寒さを迎える時期です。給食室では水道の水の冷たさや、油や水の温度上昇に時間がかかることから、冬を体感しています。寒さに負けず規則正しい生活をおくり、元気に登校しましょう。



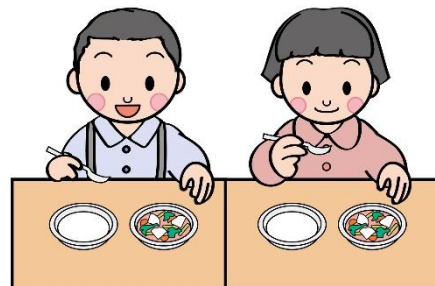
～1月24日から1月30日は「全国学校給食週間」です～



明治22年に山形県の私立忠愛小学校（大督寺境内）で始まった学校給食は、当初貧困児童の救済が目的でした。

戦争中に一時中断されていましたが、戦後の食糧難により児童の栄養状態が悪化したことから、再開することになりました。

ユニセフやアメリカの救援団体などからの物資の援助を受けて、昭和21年12月24日に、東京、



神奈川、千葉で給食が再び実施されました。この日を記念して、12月24日が「学校給食感謝の日」と定められましたが、冬休みの期間と重なってしまうため、1か月ずらした1月24日から30日を「学校給食週間」とし、学校給食の意義や役割について理解や関心を深める期間となりました。

～昔の給食を展示します～

給食週間中、1階のはなみずきギャラリーに



昔の給食を再現したレプリカ(複製模型)を展示します。ぜひご覧ください。



明治 22 年 日本で初めて提供された給食  
「栄養不足の子供を救済する目的」  
おにぎり・鮭の塩焼き・菜の漬物



昭和38年 戦後アメリカ等からの支援物資  
により給食実施 主食は「パン」がメイン  
瓶牛乳・コッパン・マーガリン  
魚のすり身フライ・マカロニサラダ



平成11年  
昭和 40 年代から、袋入り「ソフト麺」が登場。  
ゼリーフライは、埼玉県行田市の「郷土料理」  
牛乳・なす南蛮うどん・ゼリーフライ  
夏色サラダ・みかん



平成 16 年 統合により新座小が誕生  
～主食はご飯が主となり、地元の食材の活用  
「地産地消」が進む～  
牛乳・ご飯・いかのねぎみそ焼き  
いもがらの五目煮・いよかん



令和元年 新 1 万円札の顔「渋沢栄一」の  
出身地深谷市の給食  
黒パン・牛乳・ステンドグラスキッシュ風・ふ  
っかちゃん野菜のごまごまサラダ・栄一翁の  
愛した煮ぼうとう手作りコーヒー豆乳ゼリー

給食では、明治 22 年のレプリカに近  
づけた、再現献立を提供します。レプリカ  
は、食事の内容だけでなく、食器やスプ  
ーンの材質なども、忠実に複製されてい  
ます。

### ポイント:給食の目的変遷

児童の栄養状態・体位の改善  
→食文化(郷土料理・行事食等)の継承に  
加え地産地消(地域生産地域消費)